



昭和大学
SHOWA University

—昭和大学歯科病院の理念—

患者本位の医療
先進的医療の推進
医療人の育成

発行責任者 病院長 榎 宏太郎
編集責任者 広報委員長 長谷川 篤司
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1

TEL 03-3787-1151(代表)
いちいちごいち

ホームページ: <https://www.showa-u.ac.jp/SUHD/index.html>

「オーラルフレイル」対策してますか？

口腔機能管理科 診療科長・教授 古屋 純一

2024年4月1日、厚生労働省記者クラブにおいて、日本老年医学会、日本老年歯科医学会、日本サルコペニア・フレイル学会の三学会合同で、オーラルフレイルに関する記者会見が行われました。オーラルフレイルとは、口の機能の健常な状態と口の機能低下との間の状態のことで、年齢とともに進んでしまう、口に関するさまざまな機能の軽微な衰えのことを指します(図1)。

代表的な症状として、「固い食べ物が噛めない」「むせるようになった」「口が渇く」「活舌が悪い」などがあります。オーラルフレイルを放置すると、将来的にはフレイル・サルコペニア・低栄養につながってしまい、要介護や死亡のリスクが高まることから、東京大学の研究から明らかになっています。そのため、オーラルフレイルは機能が改善する可能性がある段階で早期に発見し、早期に対応することが大切です。

口腔機能管理科は、65歳以上の患者さんを主な対象としており、オーラルフレイルの判定を行った上で、様々な口腔機能の精密検査を行い、口腔機能低下症の診断をし

ています。その上で、むし歯や歯周病の管理と同じように、咀嚼や嚥下、噛む力、口腔衛生、口腔乾燥、舌の動きや力など、複合的な口腔機能の管理を行っています。特に、当科の特徴でもある義歯などの歯科治療は、噛む力や咀嚼する力を大きく改善できる可能性があります。ぐらぐらしている歯よりもピッタリした入れ歯の方が噛めることも少なくありません。オーラルフレイルかな?と思ったら、ぜひ一度検査を受けてみて下さい。50歳以上であれば公的保険により口腔機能低下症の検査を行うことができます。口腔機能管理科は、口腔機能の専門家の立場から、みなさんのフレイル対策や疾病の重症化予防に貢献したいと考えています。

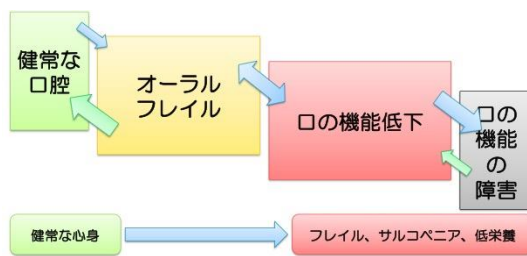


図1



- P1 巻頭言 「オーラルフレイル」対策してますか？
- P2 診療科紹介 口腔機能管理科
- P3-4 新任のご挨拶
- P5-6 新任のご挨拶、新入職員ご挨拶、編集後記

記事見出しの色分けをいたしました。

■ 患者さん向け、■ 医療機関向け、■ お知らせなど

診療科紹介：口腔機能管理科

口腔機能管理科 助教 畑中 幸子

口腔機能管理科では主にご高齢の方（65歳以上）の歯科治療を担当しております。高齢期のお口の問題で最も多いのは食事の問題です。年をとっても、「おいしく食べる」ことは、誰にとっても毎日の生活における大事な楽しみです。

ところが年齢を重ねると、さまざまな口の問題と心身の問題が複雑にからみあうことで、おいしく食べるのが難しくなる場合があります。当科では、ご高齢の方に多い複合的なお口の問題（入れ歯、口腔ケア、嚥む・飲み込みの機能など）に統合的に対応することで、少しでも「おいしく食べる」ことのお手伝いをさせていただきます。

特に、入れ歯（義歯）の問題はご高齢の方に非常に多い問題です。揺れてる歯を無理に残すよりは、ピッタリあった良い入れ歯の方が、食事が摂りやすくなることも多いです。たとえ歯が一本もない総入れ歯になっても、色々なやり方があります。当科はもともと総義歯を専門としていた診療科ですので、ぜひ一度ご相談ください。

また、入れ歯を使いこなすためには、お口の機能をきちんと管理することが大事です。

お口の機能は年齢や病気によって低下することがわかっており、これをオーラルフレイル（お口の機能の複合的な低下）と言います。オーラルフレイルは、全身の健康に関連することが分かっており、公的保険では、口腔機能低下症として管理をすることができます。50歳以上の方が口腔機能低下症の検査を公的保険で受けることができますので、全身の健康維持のためにも是非一度検査を受けてみてください（図1）。

さらに、当科では昭和大学の関連病院における入院患者さんの口腔機能の管理も統括しています。また、2024年4月からは、昭和大学病院の栄養サポートチーム（NST）にも参加しており、食べる楽しみを守るために必要なお口の健康のサポートをさまざまな面から行っております。昭和大学の強みである「チーム医療」に少しでも貢献させていただければ幸いです。当科では、日本老年歯科医学会、日本補綴歯科学会、日本摂食嚥下リハビリテーション学会の専門医・認定医を中心に、義歯と口腔機能に焦点をあてながら、他の診療科とも連携して高齢期の口腔機能管理を行って参ります。



図1 口腔機能低下症の検査



口腔機能管理科 医局員集合写真

本年4月1日より、内科クリニックの診療科長を拝命いたしました。内科クリニックは、主に内科領域の疾患や症状に対応しており、内科医師がそれぞれの視点から総合的に診療を行っています。

超高齢化社会の到来を迎え、社会のニーズはますます多様化、複雑化し、医療安全に配慮した連携体制を適宜臨機応変に構築していくことが求められています。内科クリニックでは、「チーム医療」の考え方にに基づき、歯科専門各科との医療連携において、歯科診療を医科の立場からさまざまな場面でサポートしています。歯科の症状や疾患で来院された方が、内科的な検査や治療などが必要と認められた場合にも適宜診療を行います。歯科におかかりでない方でも内科クリニックの受付は可能です。

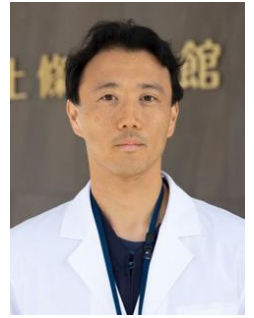
高血圧や脂質異常症、気管支ぜんそくなどのアレルギー疾患、睡眠時無呼吸症候群や糖代謝異常、慢性閉塞性肺疾患（たばこ病）などの診療では、患者さんへの十分なお説明と同意（インフォームド・コンセント）のもと、科学的根拠に基づく治療の実践を試みるのと同時に、生活習慣の指導管理やカウンセリングなどにも取り組んでいます。

新型コロナウイルスが感染拡大した際には、発熱外来が立ち上がり、より感染対策に配慮した形で上気道症状や発熱症状がある患者さんの診察、検査が可能な環境となりました。新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類となった現在でも、該当する症状にて受診された方たちに対しては、必要に応じて発熱外来にて対応させていただいております。

また、内科クリニックは、季節性アレルギー性鼻炎に対する、アレルギー免疫療法（舌下免疫療法）が可能な施設となっております。これは、アレルギーの原因であるアレルゲンを少量から投与することで、体をアレルゲンに慣らし、アレルギー症状を和らげる治療法です。すべての患者さんがこの治療の適応となるわけではなく、適応であっても時期や薬剤の出荷状況等により受けることができない場合もありますが、適宜ご相談いただければと思います。

このほか、内視鏡検査、放射線画像検査（MRI、核医学等）、超音波検査などが必要な場合は、昭和大学病院と適宜連携して施行しています。より高度で専門的な医療が必要な場合は、必要に応じて昭和大学病院に紹介するなど、昭和大学病院の各専門診療科のサポートのもと、安心・安全な診療体制を維持するよう努めています。

4月1日からは、菅沼宏充医師（医学部内科学講座呼吸器・アレルギー内科学部門）が新たに外来担当医に加わっておりますので、併せてご承知おきいただけましたら幸いです。今後とも受診される皆様が安心して診療が受けられる環境づくりに配慮してまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



新任のご挨拶

看護部 師長 中畠 理香



この度、小西師長の後任として4月1日付で看護専門学校より異動してまいりました中畠理香と申します。

私は以前に歯科病院で勤務し、その後大学病院、豊洲病院、看護学校での教育に従事してきました。今日までに多くの患者さんと関わってきた中で、『自分の口から食べる』ということ

は、患者さんの喜びであり、QOLの向上に繋がる重要なことであることを学びました。

当院の看護師は主に外科的療法を受ける患者さんへの看護を担いますが、多職種の方々とともに患者さん中心のチーム医療を実践し、安全、安心、安楽な看護で患者さんが満足していただけるよう努力してまいりますので、皆さまよろしくお願いたします。

新任のご挨拶

歯科衛生室 責任者 木村 有子



本年4月1日より歯科衛生室責任者を拝命しました木村有子（なおこ）と申します。

今年度、歯科衛生室では新入職の歯科衛生士6名を迎え、歯科病院36名、附属6病院15名の総勢51名でスタートしました。

歯科衛生士の三大業務は『歯科予防処置・歯科保健指導・歯科診療補助』です。歯科医師の指示の下、歯石除去やフッ化物塗布によ

る、むし歯や歯周病の予防、個々のお口の状態や機能に合わせた歯磨きや食生活などの指導、歯科診療補助を行っております。

口腔の健康は全身の健康に密接に関連しています。生涯を通して健康に生活できるよう、患者さんやご家族に寄り添い、多職種と連携しながらさまざまなニーズにお応えしていきたいと思っております。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

着任のご挨拶

栄養科 責任者 長谷部 茂美

本年4月より、栄養科の責任者として着任いたしました、長谷部茂美です。3月までは、烏山病院にて、責任者として勤務してまいりました。歯科病院での責任者としては、2年前以来2度目となります。

栄養科では、主に入院患者さんの身体測定及び栄養に関する生化学データを用いての栄養管理や術後退院時の食事の形態や栄養補給法などについての指導を行っています。年に

4回食事満足度調査を実施し、入院中の食事に満足していただける様に、日々努めてまいります。

外来の患者さんとは、あまり接する機会がありませんが、食事のことでお困りのことがありましたら、担当の歯科医師と相談し、歯科医師よりご依頼ください。これからどうぞよろしくお願いたします。

新入職員ご挨拶

臨床研修歯科医師

昭和大学歯科病院で研修することになりました。一年間の研修を通して、技術だけでなく、患者さんの不安や悩みに寄り添った治療ができる歯科医師になれるよう、日々学ぶ姿勢を大切に、精進してまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

臨床研修歯科医師 田名田 芽菜都

歯科治療を通して人々の健康面を支えられることを嬉しく思います。知識や技術を向上させるだけではなく、患者さんに安心して歯科治療を受けていただけるように、患者さん自身の声に耳を傾けて信頼関係を築き上げられる歯科医師になりたいと考えています。

臨床研修歯科医師 藤野 后加

昭和大学歯科病院で研修させていただくことになりました。自分自身のスキルも磨きつつ、患者さんとより良い信頼関係を築くことができるよう努め、充実した一年間にしたいと考えています。よろしくお願いいたします。

臨床研修歯科医師 中原 颯太

歯内治療科と保存修復科で研修させていただく予定です。医療人として、技術だけではなく、様々な経験を通し多くのことを学びたいと思っております。一年間よろしくお願いいたします。

臨床研修歯科医師 山本 雄大



臨床研修歯科医師 オリエンテーションの様子

新入職員ご挨拶

コデンタル

患者さんから信頼していただける歯科衛生士になれるよう、責任感と向上心を持ち、日々頑張っていきたいと思います。

歯科衛生室 歯科衛生士 荒井 美寿々

患者さんに寄り添い、信頼される歯科衛生士をめざしています。専門的な知識と技術を修得できるよう、精一杯頑張ります。

歯科衛生室 歯科衛生士 大石 真綺

常に学ぶ姿勢を持ち続け、歯科衛生士としても社会人としても成長できるよう頑張ります。

歯科衛生室 歯科衛生士 志賀 すみれ

新しい環境に早く慣れ、患者さんに寄り添い信頼される歯科衛生士として、日々知識や経験を吸収し、成長していきたいです。

歯科衛生室 歯科衛生士 近藤 風希

まだまだ未熟な部分ではありますが、歯科衛生士としても人としても成長し、患者さんに頼られる歯科衛生士になれるように頑張ります。

歯科衛生室 歯科衛生士 大橋 百花

患者さんに寄り添い、ニーズに応えられる歯科衛生士を目指し、常に向上心を持って、幅広い知識の習得と技術の向上に励みます。

歯科衛生室 歯科衛生士 田中 伶奈

患者さんの笑顔と健康を支えることができるよう継続的に学び、日々技術向上に努め、信頼される歯科技工士として成長して参ります。

歯科技工室 歯科技工士 渡邊 桜

業務を覚えるとともに歯科の知識を深め、患者さんや皆さんのお役に立てるよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。

事務課医事係 近藤 七海

新生活も始まり不安もありますが、日々の出来事から沢山のことを学び先輩方の力になれるよう精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。

事務課医事係 仁平 樹



編集後記

桜の時期ですね。近くの洗足池公園では、美しく桜が咲いています。この洗足池は、歌川広重の江戸百選に選ばれたのも有名ですが、何よりも勝海舟夫妻のお墓があることでも有名。また西郷隆盛との記念石碑もあるようです。歴史好きの方はお花見の酒のつまみに歴史なんていかがでしょうか。

帰宅後は手洗い・うがい・食後のブラッシングは徹底しましょう。(M.H)

